

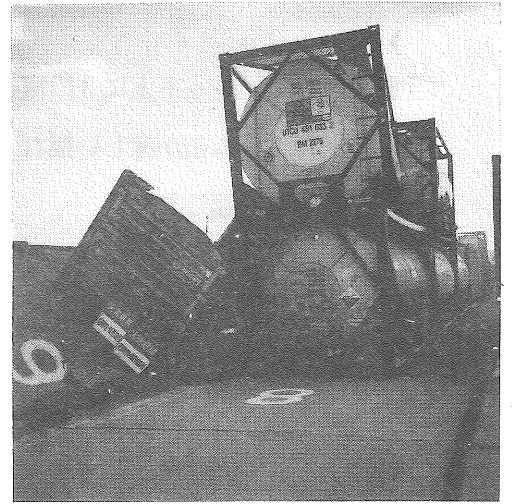
## 水上消防署管内の被害状況

### 仮貯蔵中のタンクコンテナ

2段積みされていたタンクコンテナが地震の横揺れにより上段のコンテナがずれ、転落危険が生じたが幸いにして転落は免れた。

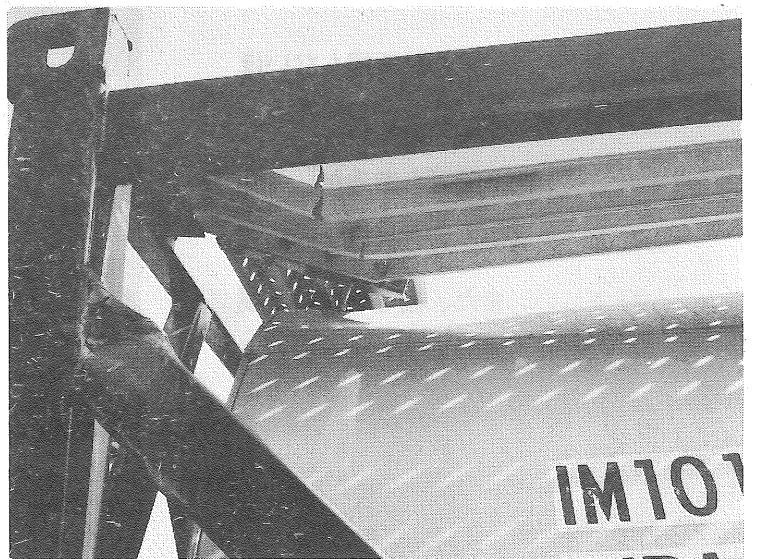
もし、東側（写真左側）の海へ転落していれば大きな事故になるところであった。

貯蔵場所は出来る限り岸壁付近は避ける必要がある。



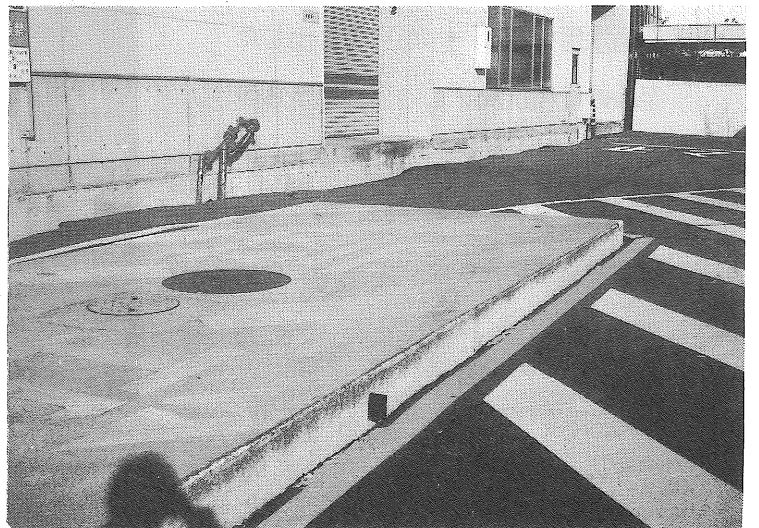
### （前同）タンクコンテナの箱枠の損傷

タンクコンテナの箱枠の一部に破断が生じ、地震の激しさを物語っている。しかしながら、タンク本体に損傷はなかった。



### 浮き上がった地下タンク貯蔵所

タンク室構造の地下貯蔵タンクが周囲の地盤沈下により約30cm相対的に浮き上がった。



### 屋内貯蔵所の貯蔵容器の転落状況

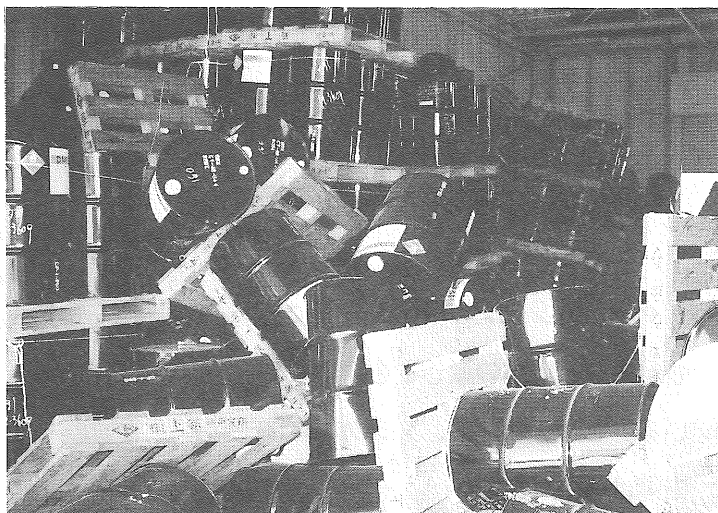
貯蔵庫内でパレット上に3段積みされていたドラム缶が激しい揺れのため、荷崩れを起こした。



### (前同) 貯蔵所内の状況

貯蔵庫内は、足の踏み場もないほどドラム缶が散乱していた。

スペース的な問題もあるが、今回の地震での教訓から今後は2段積みの方が好ましい。また、棚等を設ける場合は転落防止措置を講じる必要がある。



### (前同) 貯蔵所前の液状化現象

雨水用マンホールから噴き出した泥砂の堆積状況。このように至る所から噴出した泥砂が敷地内全域に堆積した。多いところでは、40~50cmにもなっていた。

